

# 一之宮まち協だより

第40号

平成29年9月1日

一之宮町

まちづくり協議会

広報部

高山市一之宮町3087

電話 53-2424

## 納涼夏祭りの多彩な内容で盛況



輪になって「みやむら四季音頭」を踊るみなさん  
右写真は伴奏するBKGと歌唱班のみなさんの様子

### ◆昼と夜の2部構成で実施

まち協が主催する夏恒例の「飛騨一之宮納涼夏祭り」が8月14日に開催され、多くの人が夏のひと時を楽しみました。「家族・仲間が心をつなぐ夏祭り」をテーマに2部構成で行われました。

昼の部では一之宮公民館ホールで、アニメ「モンスターホテル2」を上映。映画には子どもや親子連れなど約80人が集まり、迫力ある本格的な映像を楽しんでいました。

メインとなる夜の部は一之宮支所駐車場で行われ、夏の夜に繰り広げられる多彩な内容を多くの参加者は楽しんでいました。

夜の部は田邊重敏実行委員長のあいさつに続いて、宮保育園の年長園児がオープニングを飾り、「やさしい音頭」と「もったいない」を踊りました。続いて、高山出身でシンガー



「もったいない」を踊る園児達



軽快に踊るCrash Candy



「やさしい鳴子踊り」

ファイナレを飾ったのは花火で、打上げ中心に玩具用花火が支所2階屋上から打ち上げられ多くの人が見上げる中で今年の夏祭りを閉じました。

### ◆中3女子がダンスで参加

今年の夏祭りでは、地元の女子中学生グループがこの日のためにグループ「Crash Candy」を結成してダンスで参加。ダンスを披露したのは宮中3年生の5人で、揃いの黒衣装で登場し、「一騎当千」と「Party Rock」の2曲を踊り、躍動感に満ちた動きで会場を沸かしました。

夏祭りといえば盆踊りですが、今年には宮村立村100年を記念して作成された「みやむら四季音頭」が取り入れられました。伴奏を受け持ったのは民謡グループ「BKG」で、この日のために特別に演奏をしてもらいました。歌も実行委員を中心に歌唱班を結成して歌唱。三味線を中心に太鼓や尺八などの演奏に合わせて歌唱班が盛り上げ、それに合わせて民謡愛好会や子どもたちが踊り、来場者も一緒になって徐々に輪は大きくなりました。踊りの輪は十分とはいえないまでも、手応えはあり、来年以降の盆踊りへの弾みとなったようでした。

### ◆盆踊りは初めて「四季音頭」

続いて、宮保育園保育士のみなさんによる「宮女子」が「サプライズ出演」として赤い衣装に身を包んで登場し「やさしい鳴子踊り」を演じると、夏祭りも最高潮に達し、会場は踊りのエネルギーに圧倒されて熱気に包まれました。

会場中心にはぼんぼり風モニュメントが立てられ、その周りに灯籠を設置。ぼんぼりや行燈の絵は宮小児童が描きました。バザーでは地元業者中心に5店が出店し、生ビールや焼きそば、だんご、焼き鳥などが販売され賑わいました。商大会青年部のテントではゲームが行われ、順番待ちの子どもの列ができるほどの盛況でした。最後に大ビンゴ大会が行われ、ステージの前には多くの人が集まりカードを見つめました。時間とともに「ビンゴ」の声が次々と上がり、女川産「笹カマボコ」が渡されました。

# 「みやむら四季音頭」今昔

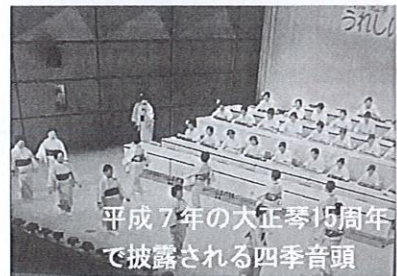
今年の納涼夏祭りでは「みやむら四季音頭」が盆踊り曲として使われました。この曲は9月の小中合同運動会で踊られますが、盆踊りで使われたことはいくつですか。曲を聞いてみると、親しみやすいメロディに一之宮のことが5番にわたって歌われています。でも今はあまり耳にしません。さて、この歌はどのようにして作成され、どのようにして使われてきたのでしょうか。

この歌は宮村の立村100年記念事業の一環として平成元年に作られました。高山市に合併してからは聞かなくなりましたが、当時の人達にとっては懐かしいメロディだと思います。

この記念事業を担当した当時の職員で社会教育主事をしていた岩野逸策さんによれば、「四季音頭」作成のきっかけは、日本民俗音楽学会常任理事の村中利男氏が宮村で講演した際に、同氏から、宮に伝わる神事芸能や民謡、わらべ歌などを収集し刊行しないかと提案され、それを実行委員会検討する中で出てきたことだそう。

当時宮には地元古来の民謡らしきものがなく、これを機にイメージソングとともに宮のシンボル曲のようなものを作りたいという思いがあったよう。

歌詞を募集することとなり、6件応募があった中で、元村長の大江稔さんの歌詞が選ばれました。それを大阪の「サウンド・ワークス」



平成7年の大正琴15周年披露される四季音頭

という会社に依頼して専門の作曲家が曲を付けたのが「みやむら四季音頭」です。イメージソングの方は「ふるさと川は流れる」というタイトルで、大阪万博の「世界の国からこんにちは」を作った作詞家の島田陽子さんが作詞しました。

原作の四季音頭の歌詞は4番までしかありませんでしたが、5番を島田さんが付け加え、全体の詞も歌いやすいよう補作されました。平成7年の宮の大正琴15周年記念事業では、大江さんも招かれて四季音頭が大正琴で演奏されましたが、その際、3番の歌詞の一部を「青菜」から元の「カブラ」に直して歌って大江さんから感謝されたというエピソードもあります。岩野さんは、原作者の大江さんとしては補作に本意な思いもあつたようだと振り返られます。

ところで踊りますが、「みやむら四季音頭」には元々の振付がありませんでしたが、当時民謡愛好会の人達などから踊りにくいという意見があり、全国フォークダンス連盟飛騨プロジェクト指導者の関谷操先生に依頼して作り直してもらったのが今の踊りです。

## 一筆 啓上 気ままにエッセー 生きやすい町、飛騨一之宮

青木 宗治 さん (間坂上)

36年勤めてきた教職人生を終え、現在は高山市千島町にある児童相談所で働かせてもらっています。

働き方改革が叫ばれている昨今、お子さんをうまく育てられないと悩み苦しむ親御さんがこの飛騨地域にも増えてきております。昨年度に対応した児童虐待の相談件数は90件を超え、過去最多となりました。10年前の約3倍にもなっています。そのため、児童相談所での勤務は働き方改革どころか、24時間体制での対応が未だに続いております。

子ども達を取り巻く養育環境に異変が生じてきています。その背景には、核家族化による子育て環境の変化があるとよく言われますが、家族を取り巻く地域づくりの在り方にもその要因がある様に思っています。

事実、虐待が生まれにくい地域には、共通した特徴が見えてきます。1つ目は、自分を大事にできているため、人も大事にできていること。2つ目は、困り事があっても、すぐに解決され、困り事を一人に抱え込ませたり、孤立させたりしないこと。3つ目は、人は多様だと理解しているため、相手は変えられない。変えられるのは自分だと分かっている。そのため、工夫する力が養われていること。

ここの一之宮町では、どうでしょうか。私の独断と偏見で、この3つについて評価してみました。1つ目は、10点満点で8点。2つ目は、10点満点で9点。3つ目は、10点満点で8点。よって一之宮町は、虐待が生まれにくい、子育て環境としては、まさに、理想的な地域と言えるのではないのでしょうか。

しかし、油断は禁物です。人生は何かあるものです。うまくいっている時こそ、一日一日を丁寧に生きていかなければなりません。

これからも、今いる身近な人達との「生きやすい関係」を大切にしながら、自分なりの方法で、まちづくりに貢献できたらと思っています。



## 頑張ってます！

地元で頑張っている若い人にスポットをあてて紹介します

### 谷口 梨詠さん (30代) 《奥》

●お仕事は？  
春〜秋黒木農園

冬モンテウス位山スキー学校

●今、夢中になつてしていること  
クロスカントリースキーを頑張ってる息子達を全力で応援しています

●趣味は？  
とんぼ玉作り、デコ弁作り

●地元の好きなところは何？  
きれいな川  
黄金色の田園風景



息子さんの中全出場の応援

●これからやってみたいことは？  
今年から、飛騨高山手筒組に入れていただいたので、来年の8月9日に、初めての打ち上げをします！皆さん、是非見にきてください。

### 佐山旬会作品より (八月句)

父の忌のめぐりほろほろ柿の花  
みたらしの龍が水吐き蟬しぐれ  
松籟の前身郭公ひよりかな  
雑木に山ぶどうあれば憩ひけり  
遠き日の馬草刈る父母女郎花  
佳き事に赤白誇る立葵  
立葵登りきつたる風の彩  
休み田に一輪揺らぐわすれ草

隆子  
しき  
ふみ  
教子  
喜栄  
清子  
八重子  
基子

# 図書館案内

暑い夏が終わり過ぎやすい季節になりました。



秋は読書の秋、食欲の秋などよく言われます。涼しく気持ちの良い風に当たりながらおいしいものを食べ、秋の夜長には読書をゆっくり楽しませてはいかがでしょうか？

## <今月の特集>

### ★「秋の夜長にミステリー」

暑さもやわらぎ日が短くなる季節。じっくり読めるミステリー小説を紹介します。

## <お知らせ>

読みたい本が本棚にない場合は、煥章館や他の分館からも取り寄せることができます。くわしくはスタッフにお尋ねください。

## <ブックスタート絵本の交換&おはなし会について>

高山市ブックスタート事業の1歳6ヶ月児絵本の読み聞かせと絵本の引き換えを行います。ブックスタート絵本の引き換えには、高山市が配付している引換券と母子手帳が必要です。おはなし会は、どなたでも参加できます。  
◆日時：9月16日(土) 午前10時30分～11時30分

# 9～10月行事予定

## 9月

- 3日(日) 総合防災訓練
- 4日(月) 生涯学習講座「昭和歌謡教室」
- 9日(土) 宮小中運動会
- 14日(木) 敬老会
- 16日(土) サタデイサークル
- 20日(水) 町内会長会
- 23日(土) 宮保育園運動会

## 10月

- 1日(日) 軽スポーツフェスティバル
- 14日(土) サタデイサークル
- 20日(金) 町内会長会
- 21日(土) 飛騨位山トレイル

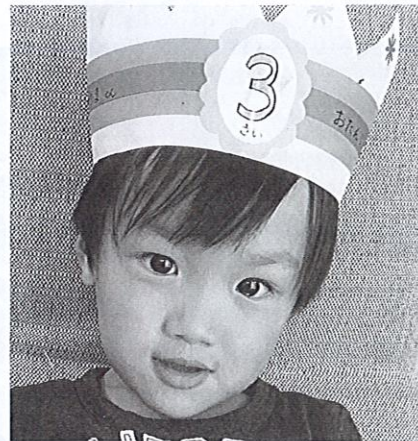
# ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

そうま 壮馬くん 平成26年7月6日生まれ

お父さん：野尻 泰洋さん (本通上)  
お母さん：野尻 由梨奈さん

壮馬と名付けた理由は、午年生まれのため馬のつく名前と考えており、その中で「そうま」という響きが気に入ったからです。馬が壮大な草原を駆けるイメージから漢字は「壮馬」とし、いつでも前向きに人生を突き進んでほしいという願いが込められています。

最近では3月に生まれた弟をとてもかわいがっており、面倒をよく見てく



れます。歌って踊ることが大好きで陽気な壮馬は我が家ムードメーカーです。これからも兄弟仲良くすくすく育ってほしいと思います。

## お知らせ

### ■「本とあそぼう」全国訪問「おはなし隊」がやってくる!

全国訪問おはなし隊は、全国各地の保育園・公民館に絵本550冊以上を乗せたキャラバンカーで訪問し、子どもたちに絵本を楽しむ時間を届けています。

おはなし会で、絵本の読み聞かせや紙芝居を体験したり、キャラバンカー内の絵本を自由に見ることが出来ます。

- ◆日時：9月12日(火) 午前10時～11時
- ◆場所：一之宮公民館駐車場および和室 申込不要。直接会場へお越しください。

### ■頭の健康チェックを受けてみませんか

「最近ちょっと忘れっぽいんやさな～」と不安に思っておられる方、この機会にあなたの認知機能をチェックしてみませんか。専門の職員が個別の相談にも乗ってくれますよ(参加費は無料)。

- ◆日時：9月6日(水) 午前8時30分～正午の間で30分程度
- ◆場所：一之宮支所2階
- ◆定員：8人
- ◆参加資格：65～79歳の方で介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方、認知症の診断・治療も受けていない方
- ◆申込先：地域包括支援センター一之宮 ブランチ 53-2211

### ■認知症予防教室のご案内

年を重ねると誰もが認知症を発症する可能性が高くなりますが、早めに予防に取り組むことで発症や進行を遅らせる可能性があると言われてしています。

心も身体もいつまでも元気で生き生きいられるように、楽しくあたまからだを使う認知症予防メニューの体験や学習をしませんか(参加費は無料)。

- ◆日時：9月20日(水)、10月4日(水) 時間は午後1時30分～3時(どちらかのみ参加可)
- ◆場所：一之宮公民館
- ◆定員：それぞれ30人
- ◆対象：65歳以上で認知症の診断や治療を受けていない方
- ◆申込先：高山市社会福祉協議会 電話：35-0294
- ◆共催：まち協福祉部

### ■ワイン講座のご案内

講師のうんちくに耳を傾けながらワインについて学び、ワインをよりおいしく飲みませんか

- ◆日時：9月29日(金) 午後7時～
- ◆場所：一之宮公民館
- ◆定員：20人
- ◆受講料：2,500円
- ◆講師：坂本 雄一 氏
- ◆申込先：一之宮公民館(電話：53-2424)までお申し込みください。

年齢	男性	女性	合計	前年増減
0～14歳	168	157	325	-14
15～64歳	682	696	1,378	-13
65歳以上	341	485	826	+10
合計	1,191	1,338	2,529	-17
世帯数	822戸			+8

平成29年7月31日現在

## 一之宮町の人口情勢(人)

「紙芝居を読んでください」「はい、わかりました」(本の宅急便)

その女の子が初めて図書館を訪れたのは5年前。お盆のため帰省した母親と一緒に。お母さんにくっついて座っていた彼女に「おはなし聞く？」と声をかけると、大きくうなずいて恥ずかしそうに微笑みました。1冊、2冊と絵本を読み聞かせると飽きることなく、次に紙芝居を読むと、どうもこちらの方が気に入ったようで、自分から紙芝居を選んで私に差し出しました。その後、お盆やGW、お正月の度に母親と訪れるようになり、数年後には1つ違いの妹も一緒におはなしを聞くようになりました。そして今年、小学校1年生になった女の子は、紙芝居を手にとると妹に読み聞かせを始めました。抑揚をつけて会話も声色を変えて、とても上手に読み聞かせる姿を見て私は嬉しくなりました。もうお役御免かな?と思ったその時、彼女は私のところへ来て言いました。

つづきやき...

## 山下中班で防災訓練 地下防水水槽使って

山下中班では8月6日に自主防災訓練が行われました。

山下中班では、昨年、地下防火水槽が設置され、可搬式動力ポンプも併せて設置されました。水量は40m<sup>3</sup>(40t)が貯蔵されています。

この量は、初期消火分の程度で、あとは消防車の到着を待つことになるそうです。いざというときは、設置されているポンプについて初期消火にあたります。

当日はポンプの使い方を中心に訓練が行われました。貯水は飲料にはできないそうですが、トイレなど生活用水には使えるそうで、災害時にも活用できます。使用された水は、



可搬式動力ポンプを扱う参加者

消防署によって補充され地下水槽は満杯しておくそうです。

各地区にも防火用水のため池がありますが、将来地下水槽に代わっていくのかもしれませんが。(山腰)

## 高齢者宅で清掃活動

### 小学生がボランティア

「夏休みグリーンボランティア事業」が8月4日に開催されました。

この活動は、一之宮町で町内の国道の清掃活動を実施しているボランティア団体「みやみーニングの会」の呼び掛けにより、高山市社会福祉協議会一之宮支部主催で4年前から行われています。

学校の夏休みを利用して、宮小中学校の児童・生徒に呼びかけ、地域ボランティアとともに独居高齢者宅を訪問して清掃活動を行っています。

今年も、宮小学校の4名の児童と大人のボランティア6名で手分けして、4軒の高齢者宅での窓拭



ボランティアの人と草取りをする児童

きや庭の草取りなどの清掃活動を午前中に行いました。

その後、一之宮公民館で地域ボランティアの手料理で、訪問した独居高齢者を招いて昼食をとり、続いてレクレーションをして楽しい一時を過ごしました。(伊藤)

## 日本の昔話から3作品 一之宮分館の上映会で

高山市図書館の読書推進事業「一之宮分館上映会」が8月2日、一之宮公民館和室で開催され、「日本の昔ばなし」から「金太郎」「力太郎」「宮西達也劇場おまえうまそうだな」の3作品が上映され、園児を含む子ども92名、大人9名が参加しました。

「力太郎」では、化け物のお腹の中から飛び出した力太郎が一撃するところまで大きな歓声が起こりました。暴れん坊で意地悪なティラノザウルスが、小さい恐竜にお父さんと勘違いされたことで愛情が芽生えてくる「おまえうまそうだな」では、真剣にスクリーンを見つめていました。

大勢の友だちと一緒に楽しんだ上映会は、夏休みの思い出の1つとなりました。(野口)



上映会に集まった子ども達

## モンデウスで星空観察 曇り空のため車体投影

星空観察会がモンデウススキー場で8月10日に開かれ、一之宮の

子どもら40人ほどが楽しみました。

飛騨プラネタリウムの星空観察車「ドリーム・スター号」がモンデウススキー場で星空観察会を行うのに合わせて、飛騨位山ふれあいの里が地元の子のために特別に企画したもの。

この日はあいにくの曇り空で、車に備えられている天体望遠鏡を使った観察会はできませんでしたが、車体側面を使ってプロジェクトで星空を映し出して説明を聞きました。



ドリーム号の前で空を見上げる参加者

人が参加して日本酒について学びました。

まち協文化教養部の教養講座として開催されたもので、講師は町内で酒屋経営してみえる内木良文氏。この講座は参加率が低い男性にもっと参加してほしいとの思いもあり今年初めて開催されました。

講師から飛騨地方の酒蔵、純米酒・大吟醸酒などの酒の等級、海外での日本酒の販売事情、酒蔵経営の難しさなどの説明を聞きながら、参加者は、一之宮町で造られている「臥龍桜」を初めとした飛騨の銘酒やなかなか手に入らない各地の銘酒を試飲しながら、酒談義に花を咲かせました。

秋の夜長、日本酒を一献かたむけられては如何でしょう。(伊藤)



試飲しながら酒談義する参加者

## 初の「日本酒講座」開催 飛騨の銘酒など試飲

「日本酒講座」が8月24日に一之宮公民館で行われ、男性ばかり9

## ローラースキー大会 町内の選手も活躍

第26回全日本選抜ローラースキーみや大会が8月13日に一之宮町内を会場に行われました。

県内外の小学生から社会人まで選手188人が出場しタイムを競

いました。一之宮町の選手の結果は次のとおりです。(中畑)

- ▽小学生低学年クラシカル 5位
- ▽町川大翔
- ▽小学生低学年フリー 2位
- ▽後田焯
- 4位
- ▽反保稜太
- 5位
- ▽後田蒼
- ▽小学生高学年フリー 1位
- ▽中畑有咲
- ▽中学生女子フリー 2位
- ▽後田紅愛